

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	障害児保育		
担当者(Instructors)	後藤 永子	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

障害児保育の理念や、保育について理解し、多様な障害の特性や、その障害に応じた援助や配慮を学ぶ。その他の特別な配慮を要する子どもの具体的な援助、家庭支援や関係機関との連携、現状と課題についても理解する。

## ■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	課題の共通理解のためにグループディスカッションを取り入れて行う

## ■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	「障害」の概念と障害児保育の歴史変遷	障害をもつこととはなにか、歴史から障害児保育を探る	<input type="checkbox"/>
第2回	障害児保育の基本	統合保育とはなにか、社会参加とインクルージョン、合理的配慮の理解	<input type="checkbox"/>
第3回	障害児の理解と保育における援助	障害児の理解と個々の発達を促す生活や遊びの環境	<input type="checkbox"/>
第4回	視覚・聴覚障害児、言語障害児の理解と援助	視覚・聴覚障害児、言語障害児の理解と保育者として援助を理解する	<input type="checkbox"/>
第5回	運動・内部障がい児の理解と援助	運動(肢体不自由)・内部障がい児の理解と保育者として援助を理解する	<input type="checkbox"/>
第6回	知的障害児の理解と援助	知的障害児の心の理解と保育者として援助を理解する	<input type="checkbox"/>
第7回	発達障害児の理解と援助① ADHD・LD	発達障害児の理解と援助① ADHD・LDの保育者として援助を理解する	<input type="checkbox"/>
第8回	発達障害児の理解と援助② 自閉症スペクトラム	発達障害児の理解と援助② 自閉症スペクトラムの保育者として援助を理解する	<input type="checkbox"/>
第9回	その他特別な配慮を要する子どもの理解と援助	特別な配慮を要する子どもの理解と保育者として援助を理解する	<input type="checkbox"/>
第10回	障害児保育の実際 ① 子ども同士の関わり	障害児保育の実際 ① 子ども同士の関わりの中でともに育ち合い成長・発達していく効果を理解する	<input type="checkbox"/>
第11回	障害児保育の実際 ② 支援の計画	障害児保育の実際 ② 個々の発達に即した指導計画、支援計画の作成を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第12回	家庭支援と関係機関との連携	家族に対する理解と支援、障害児支援の制度の理解と関係機関との連携を学ぶ	<input type="checkbox"/>
第13回	障害児の個々の特性に応じた援助や配慮	障害児の特別な配慮や保育を事例を通して学ぶ	<input type="checkbox"/>
第14回	保育現場と小学校への連携	医療・福祉・教育における現状と課題を理解する	<input type="checkbox"/>
第15回	障害のある子どもの保育の現状と課題	障がいのある子どもの保育にかかわる現状を探り、多くの課題を学ぶ	<input type="checkbox"/>

## ■ 授業時間外学習(予習・復習)の内容(Preparation/review details)

事前学習として、次回の学習プリントを読解し、現状の問題点から課題を見出すために2時間程度の学習を課す。事後学習として、授業内の資料やプリントを参照して2時間程度のまとめを課す。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

レポートは、次週に返却し、課題について説明し理解を深める。確認ミニテストは、自己採点させ、各問題の説明し、全体で共有する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育士として障がい理解と援助という必須の知識力と能力を身につけている
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	障がい児保育の現状と今後の課題に向き合う実践力を修得できている

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			10%	90%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

確認ミニテスト3回、レポート1回

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	プリント、資料を配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	適宜、紹介します	
2		
3		
4		
5		